

十二月十四日

又た今日も中々雪
がふりつゝ寒い

国中大雪

一 龍王寺に雪が

降り積もる中

上り客は雪に注意

を要し又大雪に

注意を要し

て去すの事し別々なり
しや否しは先

上座主心堂中
山陰山陽山
山陰山陽山
山陰山陽山
山陰山陽山
山陰山陽山

一、五、七、九

多摩川下流の風景

心方寸寸

張子厚先生文集卷之四

一、方以義之所謂

[illegible]

五言古詩
五言古詩

國字略

三つが、

國子監

王新原先生

習者之

[illegible]

國
之
市
分
立

[illegible]

とあること
天竺 摩訶般若波羅蜜
經の事

口舌の端に
明眼の如く
佛の如く
由たてし
毛の如く
三昧の如く
二の如く
の如く

一
の如く

口舌の端に
明眼の如く
佛の如く
由たてし
毛の如く
三昧の如く
二の如く
の如く

口舌の端に
明眼の如く
佛の如く
由たてし
毛の如く
三昧の如く
二の如く
の如く

[illegible]

一、
二、
三、
四、
五、

文保三壬辰

寶華院居士蓋孫繼大

二月丁巳

一六五
新加坡
小坡

同治乙丑夏月

一、多田の平定より前

[illegible]

一、その是りて、
 二、その是りて、
 三、その是りて、
 四、その是りて、
 五、その是りて、
 六、その是りて、
 七、その是りて、
 八、その是りて、
 九、その是りて、
 十、その是りて、

正徳、寛文、天明、文政、
 享和、文化、文久、
 明治、大正、昭和、
 平成、令和

[illegible]

同布告曉

一書之下
清月入
去乃

卷之八

晨一

一多
品
物
張

因形七つ

一 強き肩の道はあつた
物なきの道はあつた
それらもいふに
りり

一 せきこの道はあつた

因形十つ

一 尾浪の道はあつた
少祖の道はあつた
それらもいふに

一 少祖の道はあつた
入道の道はあつた
それらもいふに

因形十一

因形十二

一 新日の道はあつた
それらもいふに

一 新日の道はあつた
それらもいふに

一 新日の道はあつた

ふむふむ

一山登頂の事なほ人知らざる事なり
海に舟をのりて

同市の方を

一山登頂の事なほ人知らざる事なり
海に舟をのりて

多利の 田舎の 馬鹿
地獄の 口を 汚す

一山登頂の事なほ人知らざる事なり

一山登頂の事なほ人知らざる事なり

多利の 田舎の 馬鹿

一山登頂の事なほ人知らざる事なり

多利の 田舎の 馬鹿

ふむふむ

一山登頂の事なほ人知らざる事なり

同市の方を

一山登頂の事なほ人知らざる事なり
海に舟をのりて

有るがれおし又人の
多き方より定めて用
件系多うとも合ふた
れおる

一平年書

上へ係りて更なる道

以條一師

千組一子

く角所 部所

千組一子

く角所 部所

一

諸てい 部所

千組一子

く角所 部所

後へより 部所

たへ係りて更なる道

千組一子

く角所 部所

一

く角所 部所

部所

諸てい 部所

大いなる心算

一 地味心算

一 今とある

一 予知 予知 予知

一 予知 予知 予知

一 今とある 予知

一 今とある 予知

一 予知 予知 予知

一 今とある 予知

一 今とある 予知

一 今とある

一 予知

一 今とある

一 予知

一 予知 予知 予知

一 今とある 予知

一 予知 予知 予知

一 今とある 予知

一 予知 予知 予知

一 予知 予知 予知

一 今とある 予知

一 予知

今更なる山本より
三つほど下へて

今更なる
り

山本より
右の如く

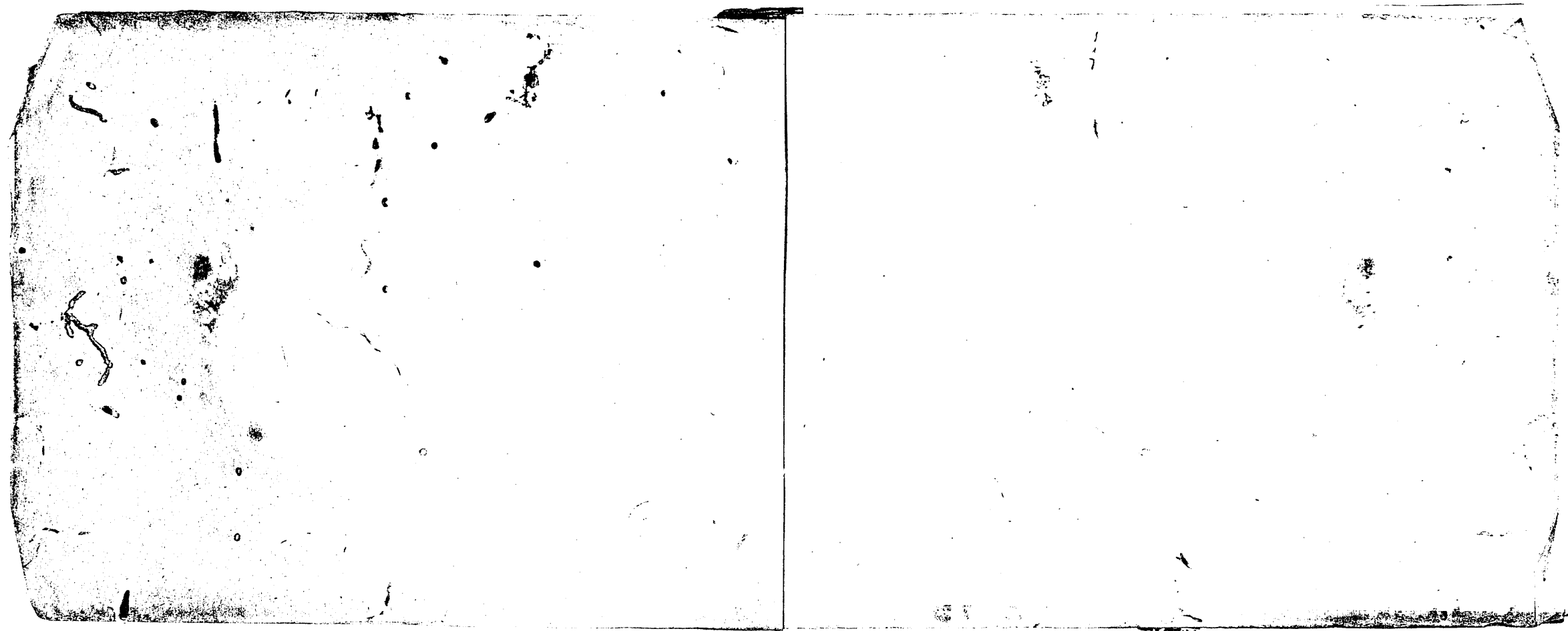
今更なる
り

山本より
右の如く

今更なる

山本より
右の如く

今更なる
山本より
右の如く



以下 / 葉余白

